

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 12 月 4 日 (2008.12.4)

【公開番号】特開 2007-129320 (P2007-129320A)
 【公開日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-019
 【出願番号】特願 2005-318437 (P2005-318437)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 L 9/00 6 7 5 A

G 0 9 C 1/00 6 4 0 E

H 0 4 L 9/00 6 7 3 E

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 10 月 21 日 (2008.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

お互いを認知するための情報の交換を経てデータ通信動作を起動する通信装置であって

、

他の通信装置と接続するための第 1 の通信インターフェースと、

情報をセキュアに記憶する記憶領域を備えたセキュリティ・デバイスと接続するための

第 2 の通信インターフェースと、

装置毎に割り振られた機器固有情報並びにその他の情報を記憶する記憶領域を備えた記憶手段と、

前記セキュリティ・デバイスを介した所定のデータの伝達に基づいて、第 1 の通信インターフェースを通じた他の通信装置とのデータ通信を制御するとともに、前記機器固有情報を前記セキュリティ・デバイスに送信する通信制御手段と、

を備え、

前記通信制御手段は、前記セキュリティ・デバイスから他の通信装置の機器固有情報を取得して前記記憶領域に記憶する、
ことを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記通信制御手段は、前記記憶領域に記憶した他の通信装置の機器固有情報に基づく通信開始要求を行ない、又は、自己の機器固有情報に基づく通信開始要求に応じてデータ通信を開始する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記記憶手段は暗号鍵を記憶し、

前記通信制御手段は、機器固有情報とともに暗号鍵をセキュリティ・デバイスを媒介にして伝達し、前記第 1 の通信インターフェースにより形成される該暗号鍵を用いて伝送路を暗号化する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記セキュリティ・デバイスは利用者権利情報を記憶しており、
前記通信制御手段は、前記セキュリティ・デバイスを媒介にして機器固有情報を伝達する際に、前記セキュリティ・デバイスから読み取られた利用者権利情報を検証する、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 5】

お互いを認知するための情報の交換を経てデータ通信動作を起動する通信装置であって
、
他の通信装置と接続するための第 1 の通信インターフェースと、
情報をセキュアに記憶する記憶領域を備えたセキュリティ・デバイスと接続するための第 2 の通信インターフェースと、
前記セキュリティ・デバイスを介した所定のデータの伝達に基づいて、第 1 の通信インターフェースを通じた他の通信装置とのデータ通信を制御する通信制御手段と、
を備え、
前記セキュリティ・デバイスの記憶領域には、他のセキュリティ・デバイスと識別可能なセキュリティ・デバイス固有情報が記憶されており、
前記通信制御手段は、前記セキュリティ・デバイスからセキュリティ・デバイス固有情報を取得して記憶し、該セキュリティ・デバイス固有情報に基づく通信開始要求を他の通信装置へ行ない、又は、該セキュリティ・デバイス固有情報に基づく通信開始要求に応答してデータ通信を起動する、
ことを特徴とする通信装置。

【請求項 6】

通信装置同士がお互いを認知するための情報の交換を経てデータ通信動作を起動する通信システムであって、
各通信装置は、他の通信装置と接続するための第 1 の通信インターフェースと、情報をセキュアに記憶する記憶領域を備えたセキュリティ・デバイスと接続するための第 2 の通信インターフェースと、装置毎に割り振られた機器固有情報を備え、
データ通信を開始する通信装置間において、一方の通信装置の機器固有情報を前記セキュリティ・デバイス経由で他方の通信装置に伝達し、又は、前記セキュリティ・デバイスの記憶領域には他のセキュリティ・デバイスと識別可能なセキュリティ・デバイス固有情報が記憶されており、データ通信を開始する通信装置がそれぞれ前記セキュリティ・デバイスから読み取ったセキュリティ・デバイス固有情報を保持し、
前記機器固有情報又は前記セキュリティ・デバイス固有情報に基づいて、データ通信を開始する通信装置をグルーピングする、
ことを特徴とする通信システム。

【請求項 7】

各通信装置は暗号鍵を備え、
一方の通信装置の機器固有情報とともに暗号鍵を前記セキュリティ・デバイス経由で他方の通信装置に伝達し、他方の通信装置からの該機器固有情報及び暗号鍵に基づく一方の通信機器への通信開始要求に応答して該暗号鍵を用いた暗号化データ通信が起動する、
ことを特徴とする請求項 6 に記載の通信システム。

【請求項 8】

前記セキュリティ・デバイスは利用者権利情報を記憶し、
各通信装置は、前記セキュリティ・デバイスを媒介にして機器固有情報を伝達する際に、前記セキュリティ・デバイスから読み取られた利用者権利情報を検証する、
ことを特徴とする通信システム。

【請求項 9】

他の通信装置と接続するための第 1 の通信インターフェースと、情報をセキュアに記憶する記憶領域を備えたセキュリティ・デバイスと接続するための第 2 の通信インターフェースとを備えた通信装置において、お互いを認知するための情報の交換を経てデータ通信

動作を起動する通信方法であって、

前記第 2 の通信インターフェースを通じて前記セキュリティ・デバイスとの間でデータの伝達を行なう第 1 の認知ステップと、

前記第 1 の認知ステップにおいて伝達されたデータに基づいて他の通信装置との間でデータ通信開始動作を行なう第 2 の認知ステップと、

を具備することを特徴とする通信方法。

【請求項 10】

前記通信装置は機器固有情報を備え、

前記第 1 の認知ステップでは該機器固有情報を前記セキュリティ・デバイスに伝達し、

前記第 2 の認知ステップでは、自分の機器固有情報に基づくデータ通信開始要求に応答してデータ通信を開始する、

ことを特徴とする請求項 9 に記載の通信方法。

【請求項 11】

前記第 1 の認知ステップでは、前記セキュリティ・デバイスから通信相手となる通信装置の機器固有情報を取得し、

前記第 2 の認知ステップでは、該取得した機器固有情報に基づくデータ通信開始要求を行なう、

ことを特徴とする請求項 10 に記載の通信方法。

【請求項 12】

前記セキュリティ・デバイスの記憶領域には、他のセキュリティ・デバイスと識別可能なセキュリティ・デバイス固有情報が記憶されており、

前記第 1 の認知ステップでは、前記セキュリティ・デバイスからセキュリティ・デバイス固有情報を取得して記憶し、

前記第 2 の認知ステップでは、該セキュリティ・デバイス固有情報に基づく通信開始要求を他の通信装置へ行ない、又は、同じセキュリティ・デバイス固有情報に基づく通信開始要求に応答してデータ通信を起動する、

ことを特徴とする請求項 9 に記載の通信方法。

【請求項 13】

お互いを認知するための情報の交換を経てデータ通信動作を起動する通信装置上の処理をコンピュータ上で実行するようにコンピュータ可読形式で記述されたであって、コンピュータを、

他の通信装置と接続するための第 1 の通信インターフェース、

情報をセキュアに記憶する記憶領域を備えたセキュリティ・デバイスと接続するための第 2 の通信インターフェース、

装置毎に割り振られた機器固有情報並びにその他の情報を記憶する記憶領域を備えた記憶手段、

前記セキュリティ・デバイスを介した所定のデータの伝達に基づいて、第 1 の通信インターフェースを通じた他の通信装置とのデータ通信を制御するとともに、前記機器固有情報を前記セキュリティ・デバイスに送信する通信制御手段、

として機能させ、

前記通信制御手段は、前記セキュリティ・デバイスから他の通信装置の機器固有情報を取得して前記記憶領域に記憶する、

ことを特徴とするコンピュータ・プログラム。

【請求項 14】

お互いを認知するための情報の交換を経てデータ通信動作を起動する通信装置上の処理をコンピュータ上で実行するようにコンピュータ可読形式で記述されたであって、コンピュータを、

他の通信装置と接続するための第 1 の通信インターフェース、

情報をセキュアに記憶する記憶領域を備えたセキュリティ・デバイスと接続するための第 2 の通信インターフェース、

前記セキュリティ・デバイスを介した所定のデータの伝達に基づいて、第１の通信インターフェースを通じた他の通信装置とのデータ通信を制御する通信制御手段、
として機能させ、

前記セキュリティ・デバイスの記憶領域には、他のセキュリティ・デバイスと識別可能なセキュリティ・デバイス固有情報が記憶されており、

前記通信制御手段は、前記セキュリティ・デバイスからセキュリティ・デバイス固有情報を取得して記憶し、該セキュリティ・デバイス固有情報に基づく通信開始要求を他の通信装置へ行ない、又は、該セキュリティ・デバイス固有情報に基づく通信開始要求に応答してデータ通信を起動する、
ことを特徴とするコンピュータ・プログラム。